

磐田バドミントン協会

加盟チーム数 8チーム
加盟人数 155名
代表者名 増田 英雄
設立年 昭和50年6月

《年間行事》

- * 磐田市民バドミントン大会
- * 磐田市豊田バドミントン大会
- * 初心者バドミントン教室

バドミンントンの起源についてはいろいろな説がありますが、一番有力な説としてインドのプーナと言うゲームがイギリスに伝わって近代スポーツとして発展したとされています。1800年代のインドで行われていたプーナと言うゲームは皮製の球をネット越しにラケットで打ち合うものでした。1873年頃イギリスの貴族ビューフォート公の別荘（グロスター州バドミントン）で開かれたパーティーに於いてインドから帰国した軍人がシャンペンの栓に鳥の羽根を差しテニスラケットで打ち合ってみせました。この後イギリス中に広がり、最初に紹介された地名からバドミントンと名づけられました。1893年にはイギリスにバドミントン協会が設立され、競技規則も統一され近代スポーツとして発展してきました。また1899年にロンドンにおいて第一回全英選手権が開催され、今日世界で最も権威ある大会として続いています。その後ヨーロッパを中心に各国に広がり1921年カナダ、1930年デンマーク、オランダ、フランスに協会が設立され1934年には国際バドミントン連盟が設立されました。日本には18世紀後半からバドミントンに似た遊びが伝わっていますが、競技として広まったのは終戦後です。1946年日本バドミントン協会が設立され、1949年国民体育大会に採用され普及してきました。そして1992年のバルセロナ・オリンピックより正式種目に採用されました。

バドミントンは、一般のイメージでは羽根突きで手軽にできるスポーツと思われがちです。バドミントンラケットは、どこの家庭でも必ずとっていいほど普及しており、風のない日であれば老若男女誰でも屋外で手軽にシャトル（羽根）を打ちあうことのできるレクリエーションのスポーツと思われがちです。日本では、バドミントンは大変マイナーなスポーツであることから、テレビ中継なども少ないため野球・サッカー等の知名度に比べれば大変知名度が低いとスポーツとしての正しい評価がなされてい

ません。

近年では、バドミントン競技が取りざたされる機会が増えてきました。なかでも2007年世界選手権大会での池田信太郎・坂本修一ペア（イケサカ）、小椋久美子・潮田玲子ペア（オグシオ）の3位入賞という快挙、さらには2008年北京オリンピックの末綱聡子・前田美順ペア（スエマエ）の4位入賞といった活躍などがあげられ、スポーツとしてのバドミントンが認知されスポーツとして正しい評価を受けるまでになっています。

このようなトッププレーヤーとして君臨するには、どんなスポーツと同じように大変ハードな基礎トレーニング・ウエイトトレーニングが必要となるのです。

世界の舞台で活躍するためには、小さい頃からトップクラスのコーチのもとで技術・戦術を磨いていかななくてはなりません。底辺の拡大をしてバドミントン人口の増加を図りオリンピックで日本からメダリストが輩出されればバドミントンを取り巻く環境が大きく変化し、バドミントン強国としてバドミントンに対する一般のイメージも大きく変化することとなります。

磐田市におけるバドミンントンの歴史は、かつての世界的女子プレーヤーであった静岡県立掛川西高等学校出身の中山紀子（旧姓高木）が、旧磐田市総合体育館で練習を積んだことに始まっていると言われています。磐田市内の高等学校には、クラブ活動としてのバドミントン部があり大変盛んであると思われます。しかし、バドミントンを始める時期は全員高校生になってからです。この時期から始めるのでは、世界のトッププレーヤーとして活躍するにはあまりに遅すぎます。この磐田市内から世界のトッププレーヤーが輩出される環境は整っていません。どんなに遅くとも中学生から初めてバドミントン経験者のもとで競技としてのバドミントン競技力に不可欠な要素である「技術」や「身体資質」に関して運動生理学的な側面から分析するとともにその他の要素についても総合的に分析し、それらにもとづいて選手の個々人が日々の練習やトレーニングにおいて目標を設定して取り組むべきです。

磐田バドミントン協会は、磐田市体育協会に昭和50年6月に18番目の専門部として加盟が承認され初代理事として中村久男氏が就任しました。就任後、磐田市のバドミントンの普及と育成に尽力をして磐田市総合体育館で磐田市民バドミントン大会を実施するまでになりました。その後、毎年磐田市市民バドミントン大会が開催され、参加者の増加と技術力のアップが図られてきています。学生の頃から始めた経験者から社会人となつてから始めた初心者が、自分のレベルにあったランクに参加して競技力のアップをしています。

また、生涯スポーツと健康増進及びバドミントンの普及を目指して、初心者バドミントン教室を毎年実施しています。この教室には中学生からご年配の方まで約40名前後の方が参加しております。参加目的は、バドミントンに興味を持って少しでも競技としてのバドミントンを知りたい方から、健康を維持するため体を動かしてみたいというご年配の方まで様々な方が参加をしています。

初心者バドミントン教室にジュニアを参加させてジュニアから選手としての育成をして磐田市から世界で活躍できる選手を輩出させることおよび、現状以上にバドミントン人口を増加させ底辺の拡大をすることが磐田市バドミントン協会の目標です。



初心者バドミントン教室練習風景